



体制として「子育て世代包括支援課」と「こども課」が役割分担して支援を提供してまいりました。しかし、令和6年4月からはこの2つの課が新たに「こども家庭センター」として、母子保健と児童福祉の専門的な知識を有する保健師や社会福祉士、助産師、管理栄養士、保育士が連携・協力しながら、より一体的に業務を行います。母子健康手帳の交付や保育所などの入所、児童手当などの支給や子育て支援サービスの利用などの各種手続きをはじめ、妊娠から子育て期にわたって、全ての家庭に寄り添いながらきめ細かい支援を行います。



子育て情報はどこで手に入るの？

- **子育てサービスマップ**
九州大学との共同研究で作成。子育てに必要な情報を子どもの年齢を軸にデザインしています。
 - **子育て支援ガイドブック**
子育てに関する手続きや情報がギュッと一冊に。各ページのQRコードから詳しい情報が確認できます。
 - **市公式ホームページ「こどもの国」**
子育てに関する多彩で多様な情報は市公式ホームページをご覧ください。
 - **子育て支援アプリ「こどもの国」**
スマートフォンから簡単に子育てに関する情報が得られます。市の相談予約や講座予約も24時間可能です。
- ダウンロードはコチラから→

保育所のごことはどこに聞けばいいの？

- 保育所や認定こども園、地域型保育施設の入所案内、幼児教育・保育無償化、病児保育などについては、こども課子育て支援係にお尋ねください。
- NEW !!**
- 4月1日から、しらぎく幼稚園(福間駅東3-4-1)が幼稚園型認定こども園に移行し、入所に関して、幼稚園部分は園、保育園部分は市が受け付けます。なお、定員は330人で、そのうち保育園部分は120人です。
 - **新生児聴覚検査費用の一部助成が始まります**
令和6年4月1日以降に出生した新生児が対象です。詳しくは、決まり次第市公式ホームページでお知らせします。
 - **3歳児健診で目の屈折検査が始まります(7月予定)**
機器を使って遠視や近視などを早期発見します。詳しくは、決まり次第市公式ホームページでお知らせします。

子どもの健やかな成長をサポートする場所として、18歳までの全ての子どもとその家庭および妊産婦を対象に、関係機関と連携を図りながらさまざまな相談に対応し、実情に応じた適正な支援につなげていくため「こども家庭センター」を開設しました。

これまでの、妊産婦や子育て世帯、子どもへのサポート

全ての家庭に寄り添いきめ細やかな支援を

もつこ子育てしやすいまちへ

こども家庭センター

こども課 × 子育て世代包括支援課

- ・ 保育
- ・ 児童手当など
- ・ 18歳までの相談支援
- ・ ひとり親支援
- ・ 虐待対応
- ・ 学童保育
- ・ 子どもの居場所
- ・ 母子健康手帳の交付
- ・ 赤ちゃん訪問
- ・ 乳幼児健診
- ・ 予防接種
- ・ 子どもの発達支援
- ・ 育児相談
- ・ 妊産婦教室

どんな相談ができるの？

- 妊娠・出産に関すること
- 産後の心と体に関すること
- 子どもとの関わり方について
「イライラしてつい大きな声を出してしまった」「子どもをたたいてしまった」など
- ひとり親家庭に関すること
- 子どもの発達に関すること
- 子ども自身からの相談(友達、学校、家族などについて)



◀身長・体重測定もできます

令和6年4月に誕生!!

『こども家庭センター』

市は、児童福祉と母子保健の一体的な相談支援を行う機関として、令和6年4月に「こども家庭センター」を開設しました。今回は、こども家庭センターに「どのような相談ができるのか」を中心に、改めて各部署の役割や施設の利用方法をお知らせします。



私たちがサポートします

全国では少子化が進行していますが、ありがたいことに福津市にはたくさんの子育て世帯が暮らしています。しかし社会状況の変化に伴い、近くに頼れる人がいないワンオペ育児であったり、子どもの発達が心配だったり、ひとりで悩んでいる人も多いのではないのでしょうか。

福津市が「子育てしやすいまち」だと感じていただけのよう、こども家庭センターは子育て世帯や子ども自身へ支援を届けるための施策をより強力に推進する体制を整えました。

こども家庭センターは、大人だけでなく子ども自身も相談できる場所です。大人も子どもも、遠慮なく気軽にお越しください。こども家庭センターのスタッフ一同、お待ちしております。



こども家庭センター 連絡先一覧

課・係名称	業務内容	連絡先	場所	開庁日	
子育て世代包括支援課	保健指導係	乳幼児健診、育児相談	34・3352	市役所本館 1階 (6番窓口)	
	子育て世代包括支援係	母子健康手帳交付 産前・産後のサポート	34・3352		
	のびのび発達支援センター	子どもの発達支援	42・9119		手光南 2-1-1 (ふくとびあ 1階)
こども課	子育て支援係	保育所入所	43・8124	市役所本館 1階 (7番窓口)	
	家庭児童相談係	児童手当	39・3148		
	家庭児童相談室	ひとり親支援 家庭の相談支援	43・8218		
	こどもの国推進係	子どもの居場所	43・8356		手光南 2-1-1 (児童センター-FUCSTA)
	児童センター FUCSTA	小学生から18歳までの居場所	43・8356		手光南 2-1-1 (児童センター-FUCSTA)
子育て支援センター「なかよし」	就学前の親子の居場所 ファミリー・サポート・センター	35・8382	手光南 2-1-1 (子育て支援センター「なかよし」)	火曜～日曜日 午前8時30分～午後5時 (第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日、年末年始を除く)	

子どもと遊べる施設があるの？

なかよし

子育て支援センター「なかよし」は市内在住の就学前の子どもとその保護者が一緒に遊べる施設です。同じ子育て中の保護者が集い、交流し、情報交換をして楽しく仲間づくりをする場所です。スタッフが常駐しているので、子育ての悩みなどの相談ができます。子育てに関する講座やイベントなども実施しています。

また、子どもの一時預かりなど、子育てを手助けしてほしい人と、子育てを手伝いたい人の相互援助活動を行う「ファミリー・サポート・センターふくつ」の窓口を併設しています。



子どもの発達が心配。どこに相談できるの？

のびのび

「のびのび発達支援センター」は、市内在住で、子どもの発達の遅れに心配のある保護者が個別に面接相談を行うことができる施設です。

個別相談の他にも、2歳児が集団活動を体験できる「ほっとタイム」事業や、就学前の児童が、小さな集団での遊びや保育を通じて、言葉や発達に関する支援を受けることができる「スマイルクラブ」事業などを実施しています。



子どもが活動できる施設があるの？

フクスタ

「児童センターFUCSTA(以下、フクスタ)」は、市内在住、在校の小・中学校、高校に通う年齢の児童・生徒が学習、遊び、スポーツなどを気軽に行える施設です。

フクスタでは、子どもたちにとって施設がより活動的な場所になるように、施設を利用する子どもたちが「FUCSTA倶楽部」を組織しています。フクスタの運営に携わることで、子どもたちの主体性を育む場にもなっています。



スタッフの声 [職員インタビュー]

子育て世代包括支援課 遠山保健師
児童センターFUCSTA 有吉

Q 普段どのような仕事をしていますか？

遠山 子育て世代包括支援課で保健師として働いています。赤ちゃん訪問や乳幼児健診で、保護者のかたと一緒にお子さんの成長を見守っている他、妊娠中や子育て中の保護者のかたが抱える困りごとなどを窓口や電話で聞き、福津市で安心して子育てができるように手伝いをしています。

有吉 児童・生徒が気軽に来て、遊びや学習、スポーツなどを楽しめるように、フクスタの運営・管理を行っています。子どもたちにとって、フクスタが居場所の一つになるように、環境の整備に努めています。また、子どもたちの自主性を育むために、子どもたちで組織されている「FUCSTA倶楽部」の活動のサポートも行っています。

Q どんなことを意識して相談を受けていますか？

遠山 相手の心配事や気持ちを丁寧に聞き取り、一人一人に寄り添った声掛けや支援ができるように心掛けています。また、専門職として根拠に基づいた適切な支援ができるよう、知識や技術をアップデートするように努めています。

Q 職員が選ぶフクスタのおすすめスポットベスト3

第1位 卓球場
小学生から高校生まで年齢を問わず、不動の人気を誇っています。

第2位 バドミントン場

2024年に新設。職員お手製のコートです。

第3位 音楽スタジオ

ドラムやギター、ベースなど本格的な機材がそろっていて、防音の部屋で思う存分楽しめます。

Q 市民の皆さんにメッセージを

遠山 子育てをするのは大変なことです。子育ての大変さを一人で抱えるのではなく、少しでも困ったことがあれば、個室での相談も可能ですので、いつでも「こども家庭センター」に相談してください。

